第三部　目録

西川祐信 春画目録

白倉敬彦
しらくら よしひこ

・婬楽勧進能
墨摺横小本一冊　宝永五年（一七〇八）頃
能狂言を題材にしたもの。

・絵本六ゝ貝（内題）
墨摺横小本三冊　宝永六年（一七〇九）頃

・諸遊芥子鹿子
墨摺横小本一冊　宝永七年（一七一〇）
「大和絵師西川祐信」　菱屋治兵衛板
「風流御長枕目録」「遊色絹篋目録」「野郎絹ふるい」「茶臼諸色絹篋」

・男色蛍火
墨摺横小本一冊　宝永七年（一七一〇）
序題「風流足分船」　菊屋七郎兵衛板
西沢一風作

・風流三幅対
墨摺横小本一冊　宝永七年（一七一〇）
内容は、「遊色絹篋」に似ているが、別本のようである。

・色あやめ
墨摺横本三冊　宝永七年（一七一〇）頃
小咄各巻三話

・色ひいな形
墨摺横本五冊　宝永八年（一七一一）
「大和絵師西川祐信筆」　八文字屋板
八文字自笑作（江島其磧作）
一．御所風、二．侍風、三．百性風、四．町風、五．商職風

・風流色貝合
墨摺横本三冊　宝永八年（一七一一）
「西川祐信画」
『風流艶色合』の改題本あり。

・かつら艸
墨摺大判十二枚組物　宝永八年（一七一一）
「花洛大和画師　文華堂西川祐信図」　谷村清兵衛板

・欠題組物
墨摺大判十二枚組物　宝永八年（一七一一）頃
「花洛大和画司　西川祐信図」

・艶女色時雨
墨摺横本一冊　宝永八年（一七一一）頃
性具、性薬の使用法を題材としたもの。

・傾野染分情ひな形
墨摺横本五冊　正徳二年（一七一二）
「大和絵師西川祐信筆」　八文字屋板
一．傾城、二．遊女、三．出女、四．地若衆、五．芸子

・好色名取川
墨摺横本三冊　正徳四年（一七一四）
「さいしき絵西川筆」　八文字屋板
改題再摺本に『風流妹背川』がある。

・**夫婦双乃岡**
墨摺横本三冊　正徳四年（一七一四）
「西川筆　さいしきゑ」　八文字屋板
本書が、『好色双ヶ岡』とも異称され、「雲上やんごとなき方々の枕席密通の体」を描いたとして取締りの対象になったか。

・**風流色図法師**
墨摺横本三冊　正徳四年（一七一四）　江島屋板

・**男色勢多蛍**
墨摺横本三冊　正徳四年（一七一四）頃
柱題「珍開色系図」

・**新色閨の鳥貝**
墨摺横本三冊　正徳五年（一七一五）
内題「新色寝夜の取開」

・**風流色八景**
墨摺横本三冊　正徳五年（一七一五）　菱屋治兵衛板
本書の一部を含む取合本に『夢能手枕』がある。

・**好色一代能**
墨摺横本三冊　正徳五年（一七一五）
八文字自笑作　八文字屋板　実際は江島其磧作ヵ。

・**床農春雨**
墨摺半紙本五冊　正徳五年（一七一五）頃

・**和楽色納戸**
墨摺横本三冊　享保二年（一七一七）
「洛陽大和絵師西川祐信」　小川久兵衛板
柱題「好色大全」
他本と合わせての再編本に『婦多見うつし』がある。

・**艶色玉簾**
墨摺半紙本三冊　享保四年（一七一九）
「大和絵師西川祐信筆」　八文字屋・江島屋相板
内題「艶女玉すだれ」
後年、同題で横本に仕立てたものがある。
異本に『妻愛色双六』あり。ところどころ板に異同あり。
こちらの方が初版本か。

・**好色役者枕かへし**
墨摺横本三冊　享保四年（一七一九）　八文字屋板
序題に「枕翻」とある。
改題再摺本に『西川筆の海』がある。ところどころ、役者の紋章が消されている。
また、一部改作したものに、『交合三才図会』がある。

・**色道床手形**
墨摺横本三冊　享保四年（一七一九）頃
「西川祐信」
『色道情雛形』（ウキヨエ内史）と同一本か。図柄の一部が、『枕本太開記』と重なる。

・**翠簾の内**（内題）
墨摺横本三冊　享保四年（一七一九）頃
他本と一部重複しているようだ。
『色師折手本』（享保四年）と同一本らしい。

・艶色華（はなえくば）暦
墨摺横本三冊　享保五年（一七二〇）頃

・枕本太開記（まくらぼんたいべきき）
墨摺横本五冊　享保五年（一七二〇）頃
改題再編本か、『色道床手形』（三冊本）がある。あるいは、『風流みづ遊び』も再板本か。

・遊色壬生（みぶ）の物真似
墨摺横本二冊　享保五年（一七二〇）頃

・艶色色子日（いろねのひ）
墨摺横本三冊　享保五年（一七二〇）
「花洛大和絵師　西川祐信図」

・色道談合草
墨摺横本三冊　享保五年（一七二〇）頃
取合本の一本か。

・好色土用干（どようぼし）
墨摺横本三冊　享保六年（一七二一）

・友色三点頭
墨摺横本三冊　享保六年（一七二一）
「西川祐信筆」　八文字屋板

・濡姿逢初川
墨摺横本三冊　享保七年（一七二二）
「西川筆」　八文字屋板

・欠題摺物
墨摺大々判一枚　享保後期（一七三〇年代）
リチャード・レイン『初期版画・枕絵』に所収。

・欠題組物
墨摺中判十二枚組物　享保十五年（一七三〇）頃か。
一面六図の版木が遺存している。

・風流色著（いろめとき）
墨摺横本三冊　享保十八年（一七三三）
「西川筆彩色絵」　谷村清兵衛板
制作年については、享保七年以前と、宝永八年刊の二説が他にある。

・男色山路露
墨摺横本三冊　享保十八年（一七三三）頃
序文・南海山人

・寝盤（ねはん）伽羅枕
墨摺横本三冊　享保十八年（一七三三）頃
いずれかの改題再摺本か。
『風俗粧すがた』名の異本あるか。

・優競花の姿絵
墨摺横本三冊　享保十八年（一七三三）頃
取合本か。『色師折手本』、『好色土用干』など。

なお、従来祐信画とされて来たものに、『西川男根力能筆（西川名残の筆）』（墨摺半紙本三冊、宝暦五年〈一七五五〉頃、『大開中心好色』の改題本あり）と、『絵本美徒和草』（墨摺大本三冊、

安永九年〈一七八〇〉頃）とがある。
前者は、月岡雪鼎画に、後者は、竹原春朝斎画と考えられるので、本リストからは除いた。